



二〇二二年、  
函館高専は創立五〇周年を迎えます。  
未来に向けてさらなる発展

函館工業高等専門学校  
創立50周年記念事業

記念事業趣意書

平成23年9月



# 函館工業高等専門学校 創立50周年記念事業 趣意書



函館工業高等専門学校校長  
記念事業実行委員長  
岩熊敏夫

さる3月11日の東日本大震災には多くの方々が被災され、原子力発電所事故と相俟って、我が国は復興への長い道程を歩み始めているところでございます。

函館高専は、昭和37年に創立された、国立高専1期校12校の一つとして、創立以来多くの有為な人材を輩出し、卒業生は工業界を中心に広く活躍してまいりました。今、新しい国のかたちを描く上で、科学・技術はその役割を果たさねばなりません。人材育成・社会貢献において、迅速に社会の要請に対応してきた高専への期待も大きく、私どもも身の引き締まる思いで取り組んでいるところでございます。

さて本校は、このたび平成24年(2012年)に50周年を迎えることになりました。

地域における伝統校として、確かな歩みで節目の年を迎えることが出来ますのも各関係者のご理解、ご協力の賜物と感謝する次第です。

21世紀の10年余の間に、国内外の情勢は大きく変化し、函館高専も組織・運営上大きな変貌を遂げて参りました。平成16年(2004年)には国立高等専門学校機構の下に独法化され、中期目標の下に中期計画を設け進捗状況を年度ごとにチェックしながら改善に努める、コンプライアンスとガバナンスの函館高専へと生まれ変わりました。同年、専攻科が設置され、高等教育機関としてその位置づけを鮮明にすると共に、平成19年(2007年)には本科4年生から専攻科までの4年間の教育プログラムが日本技術者教育認定機構から認定を受けました。更に、翌年、本校は高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていることが認定されました。一方で、平成16年には地域共同テクノセンターが設置されました。これにより、教育、研究、地域連携という高専の3本柱が確立しました。

本校は今、学生支援を充実させ総合学生支援として発展させ、時代に即した教育を提供する方向性を明瞭に打ち出しております。また、卒業生の皆さまとの連携強化の一環として、学年・学科別のネットワーク構築、卒業生の学校訪問の促進、卒業生の本校教育への参画等、本校としての事業化を促進していく所存です。函館高専のこれまでの軌跡のアーカイブ化はもちろんのこと、学生等の教育活動支援を充実させ、地域社会と国際社会に貢献する高専として時代の要請に応えて参ります。

つきましては、創立50周年を迎えるにあたりまして、その発展の軌跡を祝うとともに、今後のさらなる発展の起点とするべく、記念事業を企画いたしました。

ご一読いただき、趣旨にご賛同いただけましたら幸甚でございます。

# 創立50周年記念事業の概要

## 1. 学生支援基金創設

本校は、産業界・地域社会との連携の下での教育の個性化・高度化を積極的に推進し、我が国のイノベーションを支え、国際的に活躍できる人材育成を目指します。そのため、基金を創設し、以下事業を推進します。

- スキルアップ支援事業(応募型):基礎応用学力と課題解決力を兼備した人材の持続的育成
- 課外活動支援の充実:各種コンテスト・クラブ活動への支援強化

## 2. 卒業生との交流事業

本校はこれまでの取組を継続・拡充した下記事業を行います。

- 同窓会ネットワーク支援:学年・学科別のネットワーク構築
- 卒業生の学校訪問の促進:ホームカミングデーの設定、卒業生向けホームページの拡充
- 卒業生の本校教育への参画:各種マイスター制度による教育・課外活動への参画
- 卒業生と学生の交流促進:各種全国大会参加学生と同窓生との交流支援
- 各分野で活躍する卒業生の紹介:在校生へのロールモデルの提示

## 3. 地域社会との交流事業

- 地域企業の情報発信:学生・卒業生向け企業情報・展示会情報、キャリアパス支援
- 技術サロン:地域と学生教職員の交流
- 地域連携コーディネート事業:企業・大学・地域・高専の連携
- 地域連携教育活動:社会人向けスキルアップ講座・地域小中学校教育支援

## 4. 記念誌等の刊行

記念行事の一環として下記資料を整備・刊行します。

- 函館高専デジタルアーカイブ:本校の半世紀の歴史を鮮明な映像と文書にてインターネット上で配信
- 記念誌の刊行:函館高専の過去、現在、未来を俯瞰する解説と資料を冊子にて提供

## 5. 記念式典、記念講演会等の実施

平成24年10月12日(金)に下記行事を開催します。

- 記念講演会／15:00開場、函館市民会館  
講演者:鈴木 章 北大名誉教授  
(2010年ノーベル化学賞受賞者) 他
- 記念式典／17:00開場、函館市民会館
- 祝賀会／18:30開場、函館市民会館小ホール



## ❧ 発 起 人 ❧

### 函館工業高等専門学校教職員

岩熊 敏夫 (校長・実行委員長)	松代 周平
切明 隆司	四宮 宏貴
祐延 悟	中村 和之
浜 克己	浦田 清
山田 誠 (以上機械工学科教授)	奥崎真理子
石井 良博	後藤 哲
森田 孝	福島 純
木村 彰	佐藤 博保
高田 明雄 (以上電気電子工学科教授)	入江 俊明
国分 進	長澤 修一 (以上一般科目教授)
太刀川 寛	小山 幸弘 (事務部長)
先名 健一	宮内 政幸 (総務課長)
藤原 孝洋 (以上情報工学科教授)	小林 和宏 (学生課長)
小原 寿幸	村木 透 (総務課課長補佐)
鹿野 弘二	森若 幸弘 (総務課課長補佐)
小林 淳哉	柄沢 太 (学生課課長補佐)
上野 孝 (以上物質工学科教授)	高橋 一英 (技術教育支援センター長)
大久保孝樹	長谷川 亮 (技術教育支援副センター長)
澤村 秀治	
渡辺 力 (以上環境都市工学科教授)	

### 函館工業高等専門学校名誉教授 (カッコ内は授与年)

伊藤 英治 (4代校長)	吉岡 正敏(H13)
延與三知夫 (5代校長)	川畑 孝(H13)
東 市郎 (6代校長)	岡田 恒雄(H13)
長谷川 淳 (前校長)	鈴木 孝司(H15)
伊達 健次(S59)	清水 崇(H16)
大川 鉄男(S60)	中川 清吾(H16)
小林 盛(S63)	酒井 幸市(H17)
関堂 文男(H5)	天野 宣敬(H17)
渡辺 英郎(H7)	蘆立 徳厚(H18)
高杉 洋三(H7)	佐野 侑房(H18)
川上 徳明(H8)	松山 和雄(H18)
番匠 勲(H10)	小川 陸郎(H18)
矢代 和祐(H11)	秋葉機四郎(H19)
塚原 至(H12)	水上 正勝(H20)
小島 栄樹(H13)	蔵彦 一哉(H20)
奥村 博司(H13)	菲澤 憲吉(H22)
	中川 幸二(H22)
	日野 誠(H23)
	中島 正美(H23)

### 函館工業高等専門学校同窓会 (カッコ内は学科及び卒業期)

筒井 育夫 (会長・E4)	佐野 仁 (関東支部長・C2)
松浦 則雄 (副会長・M4)	田城 瑞穂 (中部支部長・C6)
高橋 秀治 (副会長・C10)	外山 義春 (札幌支部長・Z9)
葛西 憲之 (青森支部長・Z1)	

### 函館工業高等専門学校育成会

藤田 弘毅(会長)	道下 斉(副会長)
池見 哲一(副会長)	加保 幸雄(相談役)
川井 哲宏(副会長)	岩井 正志(相談役)

### 函館工業高等専門学校地域連携協力会

漆寄 照政(会長)	高井 英昭(幹事)
川島 眞一(副会長)	中島 康弘(幹事)
野上 仁(監事)	笹谷 隆(幹事)
溝口 裕康(幹事)	笹谷 努(幹事)
本吉 勲(幹事)	関 博行(幹事)
木戸 幸治(幹事)	高橋 志郎(幹事)
吉村健太郎(幹事)	鈴木 浩樹(幹事)

## 「函館高専創立50周年を前に」～同窓会会員のみなさまへ～

函館工業高等専門学校同窓会会長 筒井育夫

平成24年4月20日、函館工業高等専門学校は創立50周年を迎えます。

昭和37年4月に全国各地に国立高専12校が設置・開校され、わが母校函館高専も一期校の一つとして活動を始め、平成24年に大きな節目を迎えることになりました。

母校側は、50周年を記念して種々の事業を立ち上げました。内容は本記念事業趣意書のとおりですが、われわれ同窓会としましても、これら記念事業に参加・協賛して参ります。特に、創立50周年記念事業を契機に、新たな世代の同窓会

への積極的な参加及び交流が期待され、それにより同窓会組織の拡大と強化を図っていきたいと考えております。

記念式典、祝賀会は平成24年10月12日(金)に挙行されます。記念事業募金は母校の学生支援基金、同窓会員との交流事業そして地域連携事業を主眼に置いています。

同窓会会員の皆様方の絶大なるご支援を頂き、函館高専創立50周年記念事業が成功裡に遂行できますよう、お願い申し上げます。

## 「創立50周年を迎えて」～保護者のみなさまへ～

函館工業高等専門学校育成会会長 藤田弘毅

函館工業高等専門学校は、平成24年4月をもって、創立50周年を迎えます。

創立以来50年の歴史を積み重ね、6,600名余の卒業生を輩出し、函館地域はもちろんのこと北海道内においても実力のある伝統校の一つになっていることは、保護者といたしましても誇りに思っております。

この節目を迎えるにあたり、本校のこれまでの輝かしい伝統と歴史を継承しながら、変貌する社会情勢に適応すべく、更なる飛躍を遂げるよう、育成会といたしましても、引き続き学生

活及び課外活動の充実のための助成を通じ、会員の皆さまとともに学生たちが新たな一歩を踏み出せるよう支えて参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

併せまして、本校の益々の発展を祈願し、記念事業を全面的に支援し、協力してまいりたいと考えておりますので、関係各位、また広く社会の皆様におかれましても、何卒、趣旨へのご理解とご賛同をいただき、お力添えを賜りますよう、切にお願い申し上げます。

## 「創立50周年を祝して」～地域のみなさまへ～

函館工業高等専門学校地域連携協力会会長 漆寄照政

函館工業高等専門学校は国立高専1期校として平成24年に50周年を迎えます。

道南地域におきましては本科、専攻科あわせ約800名の卒業生が多方面で活躍しております。

函館高専は道南唯一の理工系高等教育機関として即戦力となる優秀な技術者の輩出、又研究機関として我々企業への技術指導、共同研究、高精度測定機器等による各種試験の実施、又市役所等の行政機関のアドバイザーとしてこの地域になくしてはならない存在になっております。

学校側ではこの50周年記念事業の一つの柱と

して「地域社会との交流事業」を掲げております。

高専協力会としましても50周年記念事業を機に今後更なる学校と地域、企業の連携を深め学校と地域企業の発展を期待するところであります。

高専協力会会員の皆様はもとより、各企業の皆様、関係各位にはこの記念行事が盛大に執り行えるよう、又今後の学校の発展の為、景気の悪い中ではありますが、基金創設の為の募金も含め地域全体でのご参加、ご協力をお願い申し上げます。



函館工業高等専門学校  
50周年記念事業実行委員会